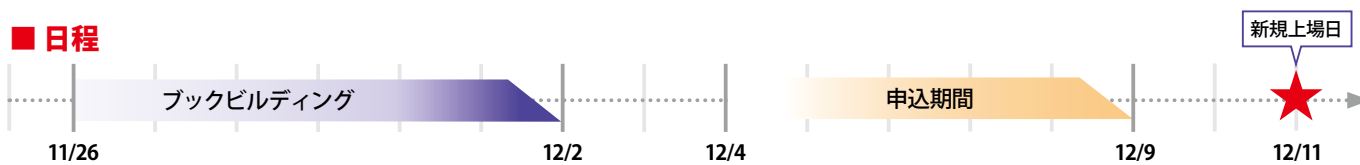


IPO銘柄 GMO TECH (6026・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6026	100株	公募: 10.00万株 売出: 17.52万株 (OA4.12万株)	5,000円~5,800円 (46.2倍)	大和証券

■ 日程



GMOグループでスマホアプリ向けアフィリエイト関連事業などを展開

■ 事業内容

スマートフォン（多機能携帯電話）アプリのランキング上位表示対策サービスを提供するスマートフォンアフィリエイトASP事業が主力。リワード広告の「GMO SmaADリワード」、アクティブ率の高いスマートフォンユーザーを獲得可能な「GMO SmaADアドネットワーク」、キーワード検索上位表示を行う「GMO SmaAD ASO」の3サービスを展開する。インターネット集客のPC・モバイル集客支援事業、アプリ作成システムのスマートフォンアプリCMS ASP事業も手掛ける。14年12月期第3四半期累計（1～9月）の売上高構成比は、スマートフォンアフィリエイトASP事業が72.5%、PC・モバイル集客支援事業が27.3%、スマートフォンアプリCMS ASP事業が0.2%。

■ 特徴

主力のスマートフォンアフィリエイトASP事業のうち、「App Store」や「Google Play」といったアプリプラットフォームのランキング上位表示対策に優位なりワード広告の「GMO SmaADリワード」は、ユーザーにインセンティブを付与することで短期間でユーザー獲得を可能とするもの。「GMO SmaADアドネットワーク」は中・長期的にアクティブユーザーを獲得することを目指す広告手法で、法人メディアを中心に広告配信を行うため、多数のユーザーへの配信が可能となっている。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年12月期の非連結経常利益は前期比12.7%増の2億800万円を予想する。経営資源を集中させるスマートフォンアフィリエイトASP事業で新規顧客獲得が進む。一方でPC・モバイル集客支援事業はプラットフォームの検索エンジンアップデートの影響を受けて成長力が鈍っている。

■ 定性分析

14年10月21日に同じGMOインターネット子会社のGMOリサーチが上場し、初値は2.3倍に急騰。GMOブランドの強さが確認された。人気のネット関連の案件ということもあり、親子上場案件への嫌悪感は乏しい。また、同社は「LINE」関連銘柄としても注目を集めそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約18億円。軽量感はないものの、ベンチャーキャピタル保有株はなく、公開株式以外の株券は市場に流通しづらい構造にある。4案件が同日上場するため、買い付け資金の分散は懸念材料ではあるが、下値不安は乏しい。

(小泉健太)

■ 類似企業

GMO TECH(6026・マザーズ)	予想PER46.2倍 (仮条件上限)
GMOリサーチ(3695・マザーズ)	予想PER36.4倍
フルスピード(2159・マザーズ)	予想PER18.5倍

■ 引受証券

大和証券、野村証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほ証券、いちよし証券、岩井コスモ証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年12月期(実績)	1,057	2.2倍	125	83.1	73	83.3	73.1	36.6
13年12月期(実績)	2,369	2.2倍	184	47.2	114	56.2	114.6	51.6
14年12月期(会社予想)	2,993	26.3	208	12.7	126	10.1	125.4	41.0

※株式分割を14年3月(1株→200株)と14年9月(1株→5株)を実施。12年12月期、13年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年12月期	1,000	391	133	10	133.5	34.1	68.1
13年12月期	1,000	633	211	10	211.6	33.4	66.4

※12年12月期および13年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	GMOインターネット	574,000	56.27
2	鈴木 明人	368,065	36.08
3	三田村 徹彦	40,870	4.01
4	鈴木 繭子	22,000	2.16
5	松本 鉦大	1,630	0.16
6	児林 秀一	1,335	0.13
7	佐々木 千春	915	0.09
8	飯島 陽介	750	0.07
8	河原崎 亮	695	0.07
8	齋藤 新	680	0.07

経営陣

役職	氏名
取締役会長	熊谷 正寿
代表取締役社長	鈴木 明人
取締役 モバイルマーケティング事業部長	松本 鉦大
取締役 管理部部长	染谷 康弘
取締役	森 輝幸
取締役	瓜生 健太郎
監査役(常勤)	三田村 徹彦
監査役	安田 昌史
監査役	森谷 耕司

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。